

第17回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 平成26年 12月17日（水） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女会議室
- 3 出席者 出席者総数 9名
委員総数 7名

出席委員（5名） 青木歳男 荒川真美 近藤雅哉
内藤智浩 酒井裕樹

レポート提出委員（2名） 吉武信博 篠原加代

放送事業者側出席者（4名） 小柳幸博 中村絵梨香
高木祥平 川崎麻耶

- 4 議題 番組「きらきらミュージックBOX」
12月1日（月）10：00～11：00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 音楽情報番組
- 7 審議内容

【全体を通して】

- ・クリスマス、冬映画がテーマであったため、紹介のほとんどが関連ソングになっており、選曲に理由があって良かったと思う。
- ・良い意味で、引っかかる所のないすんなりと耳になずむ番組だった。
- ・あまり興味のないジャンルだった人でも、充分受け入れられる内容だったと思う。
- ・一部の映画についての世界観はよくつかめず、興味が持てなかった。
- ・もっと本数を絞り、より深い情報にした方が良いと思う。
- ・メインパーソナリティの早口が気になった。
- ・パーソナリティの噛みが気になった。
- ・もう一人のパーソナリティのゆっくりした喋りで落ち着いた。

- ・パーソナリティの事が知りたくなり、ホームページを閲覧し、その際、ホームページの充実した内容に関心した。
- ・若いパーソナリティ二人での放送だが、内容は小さい子供から若者、中高年まで楽しめる内容になっていたと思う。
- ・会話の内容で遠い昔の思い出が蘇った。いつの時代もクリスマスは特別な日だと感じた。
- ・「私をスキーに連れてって」の映画の話し。ファッションは時代を映すものだが、「恋人はサンタクロース」や「クリスマスイブ」などのクリスマスソングはいつの時代に聴いてもよい不動のクリスマスソングだと感じた。
- ・クリスマス映画については、以前観たものはまた観たいと思い、観ていないものは観てみたいと思った。
- ・映画の話をするのであれば、あらすじをいうだけでなく、印象深かったシーンについてもっと話を聴きたかった。
- ・あらすじが長すぎ。
- ・映画が上映された当時の話は大変面白かった。
- ・映画の主演情報が欲しかった。
- ・リスナーの年齢層が高いので、もう少し年代を上げてもいいのではないかな。
- ・番組自体にあまり個性がなかった。
- ・話しの変化が無く、淡々と無難に進行していったのが残念。
- ・二人の声のトーンが似ており、メリハリが無かったように感じた。
- ・会話の最中に効果音などを入れて、変化を付けても良いのではないかな。
- ・選曲が良かった。
- ・メッセージは噛まずに読んで欲しい。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 2月26日（木） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社 名	一般財団法人 FM八女
-----	-------------